

平成27年8月18日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 開示担当 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

タイ王国における爆発事件についてのお知らせ

昨日2015年8月17日現地時間19時頃、タイ王国バンコク都の中心街の観光名所エラワン廟において爆発が起こり、テロ等の犯罪であるとの報道がなされております。まず、被害者の方々に心からの哀悼の意を表するとともに、負傷者の皆様の一日も早い回復を心からお祈りいたします。

株主の皆様、取引先の皆様、投資家の皆様、関係者各位には以下をお知らせいたします。

当社は現在タイ王国証券取引所一部市場に上場しております Group Lease Public Company Limited を連結子会社としており、同社のビジネスがタイにも展開しております。またタイ王国南部のリゾート・ピピ島にあります5つ星ホテル Zeavola Resort を持分法適用関係会社としております。当該2社について人的、物的、その他の直接的な被害はありません。そして今後も、これらの各社の事業の展開及び収支に影響を与えることはない判断しております。

当社が確認したところ、現在、市内は現場の付近を除いて平穏であり、タイ国民の平穏な日常生活は保たれております。経済活動においても大きな影響は出ない状況です。

以下、当社社長此下竜矢よりコメントを申し上げます。

「このたびはバンコクにおける爆発により多くの死傷者が出る事態となりました。被害者の皆様に心から哀悼の意を表するとともに、負傷者の皆様の一日も早い回復を願ってやみません。

タイ当該事件はテロだと言われております。その場所は私自身も何百回と車を運転して通った場所であり、爆発の起こりました場所も私の友人一族所有ホテルの一角にあります。平和と幸福を祈る場所であり、人々が観光で訪れる、そして通勤ラッシュも集中するこのような場所でテロが行われたとすれば、その卑劣で残虐な行動、私の友人たちを危険にさらした犯人に心から怒りを覚えます。

私はタイ王国に居住し、ビジネスを行って18年になります。この間タイに育てられ、恩を受けてまいりました。タイは私の第二の故郷であり、友人たちの国です。この18年間、タイは、通貨危機、SAAS、津波、大規模なデモ、クーデター、大洪水などを経験しました。その荒波の中、常にGDP、観光客数、外国直接投資、企業数、国民生活などを大きく成長させ、東南アジアの中心であり続け、発展してきました。私はそれを肌で実感してきました。

この18年間タイの発展はめざましく、今やバンコクは先進国のレベルにあります。私は、その発展を成し遂げたタイ王国の強い潜在力を確信しておりますし、今後もビジネスを通じて、また多くのタイの友人の良き友として、その発展に貢献していく決意です。」

以 上